

京都市立栗陵中学校

(様式 4-2 : 令和 5 年度 モビリティ・マネジメント教育 (交通環境学習) にかかわる教員支援制度

実施結果報告書)

実施結果報告書

1. 学習名称 : 「地方自治」					
2. テーマ : 公民的分野「請願権の行使」 請願を通して自分たちの思いを実現させるためにどのようなことが必要になるかを考える。					
3. 実施教科 : 社会科					
4. 関連単元 : 「地域の在り方」(探究学習) 単元「20 年後を見据えた京都市の在り方」－ 子育て世代と公共交通を視点に －					
5. 実施単元数 : 4 時間					
6. 学年	3	7. クラス数	4	8. 生徒数	109 名
9. 実施内容 (1) ねらい ・ 模擬請願を行うことに対して、民主政治の基本となる「個人の尊重と法の支配」や「民主主義」といった考え方に注目し、身近に見られる課題を取り上げ、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての立場で解決方法を追究できる態度を養う。 (2) 単元を貫く問い ・ 請願を通して自分たちの思いを実現させるためにどのようなことが必要になるのだろうか？ 単元を貫く問いについての答えを導き出すために、昨年(2 年次)に実施した地理的分野「日本の様々な地域 地域の在り方」の単元「20 年後を見据えた京都市の在り方」－ 子育て世代と公共交通を視点に － の学習単元を振り返り活用して自地域の課題を請願につなげ、公共交通の意味や意義について深く考察したり、持続可能な公共交通を創るために大切なことは何かを構想したりする。 (3) 指導計画 1 時間目 : 「地方自治の意義と役割」・「国政と地方自治の違い」 2 時間目 : 「地域の課題把握」(2 年次の学習の振り返りと活用) 3 時間目 : 「請願権の行使①」(請願書の検討・発表) 4 時間目 : 「請願権の行使②」(請願権の再検討と理解)・「単元を貫く問いの結論」					

10. 学習のながれ：

1 時間目：「地方自治の意義と役割」・「国政と地方自治の違い」

目標：地方政治のしくみや財政における国と地方の関係を踏まえ、地方自治にどのように関わってといくとよいのかを理解する。

⇒地方自治の基礎知識の習得の単元

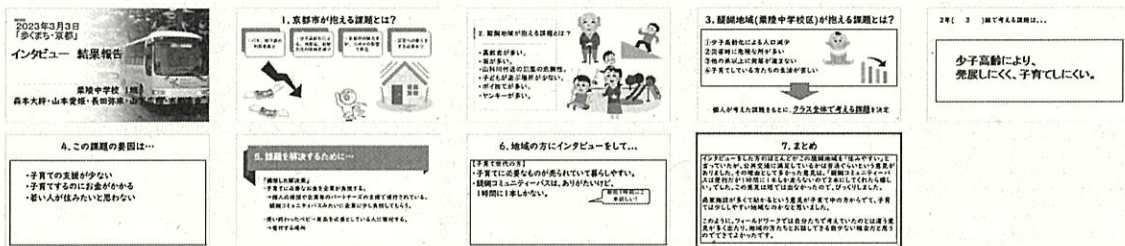
2 時間目：「地域の課題把握」

目標：請願に向けて地域社会で解決すべき課題を考え、解決するために必要な情報を収集し、解決策を考える。

○前回の授業の復習 ⇒ 単元を貫く問いの予想を立てよう！

○2年生の学習を活用しよう！！

※2年生の「地域の在り方」で作成したPPT等を活用して、醍醐地域の課題を把握し情報を整理する。↓PPT



・車かつ人が多いため、バス・電車も待つ人が少ないこと。

←醍醐地域の課題

・乗り場が少ない・少子高齢化

※ワークシートより抜粋

・観光場所が少ない。↳発展していく、子育てしていく。

○醍醐地域の課題に対して、具体的な解決策を考え、請願書を作成しよう！

【請願書を作成するポイント】

①公平・公正の視点 → 手続き、機会、結果の公正を満たしているか？

②予算の視点 → 地方財政のしくみを踏まえて、予算面で本当に実現可能か？

③人権の視点 → 個人の尊重、基本的人権を踏まえて、誰かの人権を侵害していないか？

④持続可能の視点 → 将来にわたって、それを維持できるのか？

↑(保育料、バス、ベビー用品)
 子育てに必要なお金を企業が負担する
 →個人で保育園や企業のバートーサービスのサポートを運営している。
 醍醐用コトコトバスはたいてい企業が負担している
 ・使い終わったベビー用品を必要として人に寄付する。
 →寄付する場所がない。設置する。
 ↓
 市役所

バス、プラー
 ↳たまるも、景品も入る
 ↳バスを
 乗る人が増える
 ↳
 お金が増える
 (バス、増える)

交通機関
 ○バス料 無料
 ○バスの本数 増
 ○バス回数 増
 ○みんながきたくなるような
 場所をつくる
 ↳
 くる → お金増

メモ
 バスに待合室、バスマアをつくる (公共交通を促す)
 設置と安くする
 施設に無料でバスを促す。
 プラカする。
 子どもがいたとき
 バスでの近づく公園?

※生徒ワークシートより一部抜粋 (解決策)

3 時間目：「請願権の行使①」（請願書の検討・発表）

目標：醍醐地域の解決すべき課題を踏まえ、その課題を解決するための請願書を作成し、検討・発表を通して、何が大切なのかを考える。

○請願書をロイロノートで作成しよう。

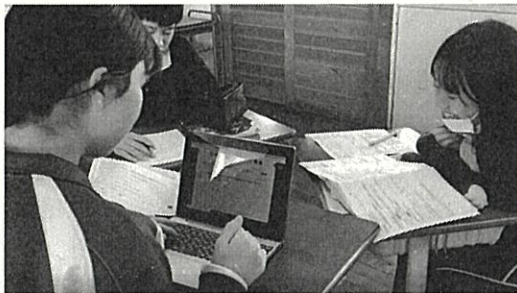
京都市 議長様

醍醐地域の活性化に繋げるための 請願書

醍醐地域で少子高齢化やコミュニティバスの利用者数が減っています。このままでは醍醐地域が発展することは難しいと考えます。
 醍醐地域の活性化に繋げるため、醍醐地域内を走るコミュニティバスを活用することで地域の活性化に繋がると考えます。
 具体例はコミュニティバスでのスタンプラリーの実施です。またスタンプラリーの景品をパートナーズの割引券などにする事で地域の商業施設などの利用者数も増加に繋がると考えます。
 コミュニティバスを通して幅広い年齢に使ってもらい地域の活性化に繋がりたいと考えるのでこの点を請願します。

請願項目

一、醍醐コミュニティバスでスタンプラリーを実施してください



※請願書作成の様子

京都市 議長様

すべての人が使いやすいバス停を求める 請願書

バスの利用者が少なく、その原因としてバスマップが見にくくて使いにくいというのがある。
 そのため、バスマップに各バスの停車駅をすべて書いておいたり、また、体が不自由な人たちが使いやすいものにするため、音声ガイド・点字をつけることを請願したい。
 音声ガイドはバスの停車駅名、をそのバスが来る五分前に放送する。点字はバスマップに書いておく。

請願項目

一、バスマップをわかりやすくしてください
 一、音声ガイド・点字の設置してください

京都市 議長様

公共交通機関でのスタンプラリーの実施を求める 請願書

今この地域、醍醐では公共交通機関の利用者が少ないという課題があります。その課題を解決するため公共交通機関を利用するたびにスタンプが押されていくスタンプラリーを実施して、スタンプがたまる地域内の特定の店舗で一定以上の買い物をしたときに使える割引券を配布することで公共交通機関の利用者を増やしたいと考えてので請願します。

請願項目

一、交通機関の利用者でのスタンプラリーを実施してください。
 一、地域の企業と連携して景品を用意してください。

○請願書について、グループ同士で交流(検討)しよう。

バスの利用を増やす。

スタンプラリー、バス停の活性化

ポイントカードの割引を促す

お土産の割引券を配布する

バスの乗降場外、外の景色を
 景観を良くする

バスマップを簡単に分かりやすいように

醍醐地域で高齢者

バスに乗りにくい人、高齢者、障害者、外国人、外国人にやさしい？

少子高齢化

コミュニティバス
 のスタンプラリー

パートナーズの割引券

場所

場所の
 活性化

お土産の割引券

活性化、利用者の増加

バスマップを簡単に分かりやすいように
 する仕組みを
 11バスにのりやすさを高めるために
 色々なアイデアをかんたんに



※ジグソー学習による発表の様子

※生徒のワークシート一部抜粋

4 時間目：「請願権の行使②」（請願権の再検討と理解）・「単元を貫く問いの結論」

目標：請願を通して自分たちの思いを実現させるためにどのようなことが必要になるかを考える。

⇒本単元を通じて学習したことを活用・総括し、自分の考えを「単元を貫く問いの結論」としてまとめる。

(5) 社会科公民的分野「地方自治」単元でモビリティ・マネジメント教育を行って
今回、社会科公民的分野「地方自治」単元での学習において、(1) ねらいにもある通り、自地域（身近な）である醍醐地域の課題を通じて、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての立場で解決方法を追究できる態度の育成を目的として計画し実施した。また、主権者としての自覚を深めるためにも、自地域をより良いものにしていくために、地域の課題を把握・追求しその実態を理解していくことは非常に大切なことである。さらに、その課題をどのように解決するのか、解決していこうと考えるのかにおいて、単元の関連性からも、昨年度生徒らが取り組んだ「地域の在り方」での課題（子育て世代と公共交通を視点に）を活用したことは、自分ごととして地域をとらえ、更に深い視点で地域を見ることにつながった。

また、モビリティ・マネジメントの視点で継続して学習を進めることは、生徒の学びの段階が、どのように変容し、どのように広がりや深まりをもつことができたのかを検証することにもつながった。つまり、今回の単元で行うことは、地理的な見方・考え方だけでなく、公民的な見方・考え方も加えて生徒の成長を見取ることができたことが、成果である。

課題については、学習のながれの中に、他地域（自地域以外や京都市以外の取り組みや類似点・相違点の請願例について）の課題を盛り込むべきであった。その上で、多様な意見や考えを引き出しつつ、公共交通との関連も踏まえながら、持続可能な社会を創造するために大事にすべきことは何かを概念的かつ価値的なところまで見通し、生徒の考えを導き紡ぎ出せる場面を設けることが必要であった。

次年度以降も、今回の反省を生かし、新たな課題へとつなげ、学び問い続ける姿を目指した指導ができるよう精進したい。

※学習で使用した教材やワークシート、学習風景を撮影したビデオや写真、指導計画書などを添付して提出してください。